

## ドイツ・ケルン大学と交流協定を締結しました



協定書を取り交わす  
ヤゴツィンスキ教授とベントン副学長

協定調印式には、ケルン大学からは、ヤゴツィンスキ教授が来日され、本学からは、ベントン副学長、松村教授（ボン事務所所長）、相澤教授（同副所長）らが出席しました。

なお、今回の調印式は、同日に開催された筑波大学開学 40+101 周年記念式典とあわせて行われました。



ケルン大学 本部校舎

2013年10月1日（火）にケルン大学（ドイツ連邦共和国）と大学間交流協定を締結しました。この協定は、全学部を対象とした学生及び研究者の相互交流を目指すものです。

ケルン大学は、14世紀に設立され、44,000人以上の学生が学ぶドイツ有数の総合研究大学です。ドイツ政府によるエクセレンス・イニシアティブ事業のエリート大学にも選ばれています。



締結式典

ケルン大学との交流協定の締結により、従来の生命環境科学分野での学术交流に加え、ドイツにおける日本語教育に関する学术交流、交換留学生交流など、本学の教育研究の国際化を促進する交流が期待されます。

今回の協定締結により、本学はドイツにおいて12の大学、ドイツを含む欧州全体において56の大学や研究機関との交流協定関係を有することになりました。